

サービスマニュアル

Twin Hybrid

UA-EC22S改

概要・整備編

本書は、「車両の識別」「作業上の注意事項」「バッテリーの取外し」に限定した内容を記載してあります。

サービスマニュアルの抜粋で構成されているため、ページ抜け、リンク不良等がありますがご了承下さい。

セクション

0A

概要

目 次

本書の見方	
略語の説明	0A- 2
車両外観	0A- 3
外観四面図	0A- 4
車種構成	0A- 5
主要諸元	0A- 6
一般概要	
アシストモータの識別	0A- 7
トランスミッションの識別	0A- 7
作業上の注意	
高電圧システムの全般的な注意事項	0A- 8
サービスプラグの取外し / 取付け	0A-10
漏電	0A-10
漏電検出時の注意	0A-11
高電圧作業中表示見本	0A-12
アイドルストップ制御の注意	0A-13
事故車の取扱い	
事故現場での処置	0A-14
事故車移動後の処置	0A-14
事故車補修時の注意	0A-14
廃棄処理時に注意を必要とする部品	
バッテリー	0A-15
故障診断	
ダイアグモニタカプラ配置図及び端子配列図	0A-16
ダイアグコードの表示 / 消去方法	0A-17
スズキダイアグノスティックモニタ (S-DM2000)	0A-18
納車にあたってのお願い	
新車の点検について	0A-20

本書の見方

略語の説明

略語	意味
A	
A / B	エアバッグ
A / C	エアコンディショナ
A / F	空燃比
ABS	アンチロックブレーキシステム
ABV	エアバイパスバルブ
AC	交流
ACC	アクセサリ
ALR	自動繰り出し防止
ASSY	アッセンブリ
AT	オートマチックトランスミッション
B	
+ B	バッテリー
+ BB	バッテリーバックアップ
BAT	バッテリー
BMU	バッテリーマネージャ
BTDC	上死点前
bps	ビット毎秒
C	
CO	一酸化炭素
COMB	コンビネーション
CPU	中央処理装置
CRD	クッション レストレイント デバイス
CVT	無段変速機
D	
DC	直流
DN	ダイアグノーシス
DNS	ダイアグノーシススイッチ
E	
EBD	電子制動力分配制御
ECM	エンジンコントロールモジュール
ECU	電子制御ユニット
EGR	排出ガス再循環装置
ELR	自動繰り出し防止
EMCD	エレクトロマグネティックコントロール デバイス
EPI	電子燃料噴射装置
EPS	電動パワーステアリング
ESA	電子点火時期制御
EX	エキゾースト
F	
FF	前置きエンジン前輪駆動
FL	前左
FR	前置きエンジン後輪駆動
FR	前右
G	
GND	グラウンド (アース)
GPS	全世界測位システム
H	
HC	炭化水素
HCU	ハイブリッドコントローラ
HEV	ハイブリッドエレクトリックヴィークル

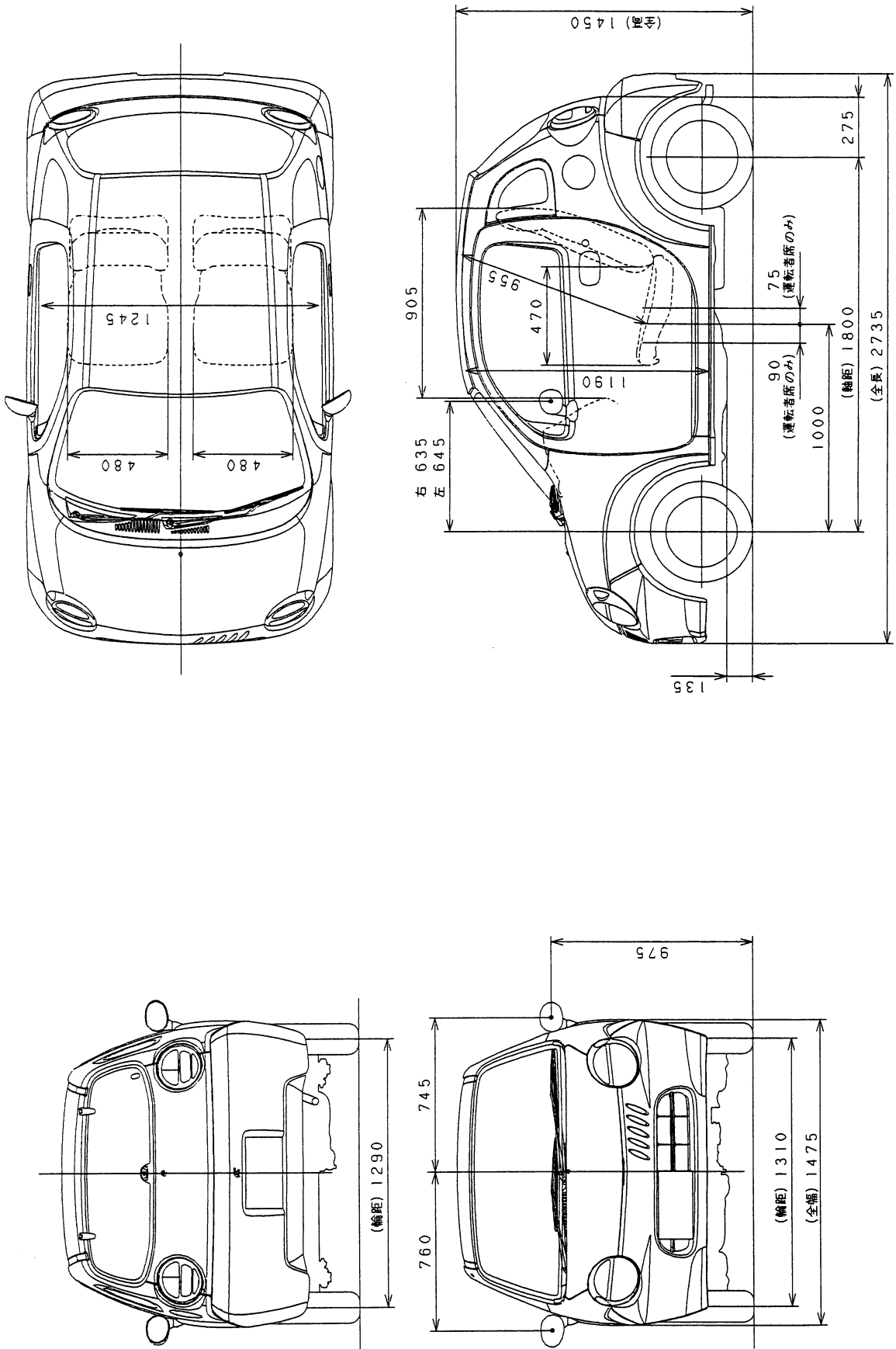
略語	意味
HFC	代替フロン
HU	ハイドロリックユニット
I	
I.T.L	アイソレーテッドトレーリングリンク
ID	識別
IG SW	イグニッションスイッチ
IGコイル	イグニッションコイル
ILL	イルミネーションランプ
IN	インテーク
ISC	アイドル回転速度制御
ISO	欧州工業規格
L	
LED	発光ダイオード
M	
MGG	マイクロガスジェネレータ
MT	マニュアルトランスミッション
N	
NA	自然吸気
NO _x	窒素酸化物
O	
O / D	オーバドライブ
OBD	車載式故障診断システム (オンボード ダイアグノーシス)
OCV	オイルコントロールバルブ
P	
PCV	ポジティブクランクケースベンチレー ション
P / S	パワーステアリング
R	
RR	後右
RL	後左
S	
S-DM2000	スズキダイアグノスティックモニタ
SAE	米国工業規格
SDL	シリアルデータリンク
SEC	セクション
SI	国際単位系
SRS	補助乗員拘束装置
SW	スイッチ
T	
TCS	駆動力制御システム
TECT	軽量衝撃吸収ボデー
V	
VSV	バキュームスイッチングバルブ
VST	車両安定性制御システム
VVT	可変バルブタイミング
W	
WGV	ウエストゲートバルブ
1~	
2WD	2輪駆動
4WD	4輪駆動

車両外観



外観四面図

スズキ UA-EC22S改型 外観図



車種構成

車両型式	エンジン		駆動方式	トランス ミッション	ボデー	ベース車の 類別区分番号	グレード	補助記号
	型式	仕様						
UA-EC22S改	K6A	2カム4バルブ	2WD	4AT	2ドア	005	ハイブリッドA	XAXV
						008	ハイブリッドB	XAEV

全車、運転席・助手席SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナ標準装備

主要諸元

機 種		EC22S改	
		XAXV	XAEV
ベース車両指定番号		11689	
ベース車両類別区分番号		005	008
車名および型式		スズキUA-EC22S改	
車台の名称および型式		スズキEC22S改	
自動車の種別		軽(4輪)	
用途		乗用	
車体の形状		箱型	
軸距(m)		1.800	
燃料の種類		ガソリン及び電池	
原動機の型式		K6A	
総排気量(L)		0.658	
長さ(m)		2.735	
幅(m)		1.475	
高さ(m)		1.450	
輪距(m)	前輪	1.310	
	後輪	1.290	
室内の寸法(m)	長さ	905	
	幅	1.245	
	高さ	1.190	
車両重量(kg)	前軸重	430	445
	後軸重	270	280
	計	700	725
乗車定員(人)		2	
車両総重量(kg)	前軸重	470	485
	後軸重	340	350
	計	810	835
最大安定傾斜角度(°)	左	59	
	右	60	
車輪配列		2D - 2	
タイヤ	前輪	135 / 80R12 68S	
	後輪	135 / 80R12 68S	

注意

- ・登録時は持込み検査となるため、上記の各諸元値は参考値である。

作業上の注意

高電圧システムの全般的な注意事項

注意

- ・ハイブリッドシステムは高電圧回路を有している。取り扱いを誤ると感電、漏電などの原因につながる。本書に従い正しい作業を行うこと。

- ・高電圧回路に関わる点検・整備を行うサービススタッフには労働安全衛生法 第59条並びに労働安全衛生規則 第36条により特別教育の受講が義務付けられている。
- ・高電圧回路のワイヤハーネス及びコネクタはオレンジ色で統一してある。これらの配線には不用意に手を触れない。
- ・高電圧システムの点検・整備を行う場合は絶縁手袋の着用並びにサービスプラグの取り外しなど、感電防止措置を確実に実施する。また、取り外したサービスプラグは、作業中に他のサービススタッフが誤って接続する事が無いようにポケットに入れて携帯する。

注意

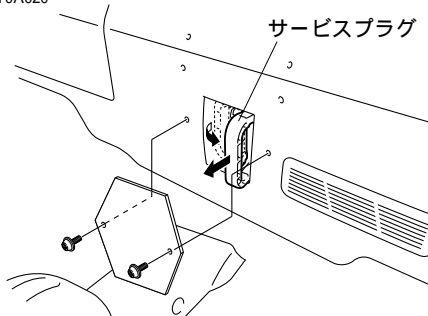
- ・ハイブリッドシステムのダイアグコード別故障診断を行う際は、当該コードのフローチャートの作業指示に従い、サービスプラグの取外し／取付けを行うこと。

- ・サービスプラグを取り外してから高電圧のコネクタや端子に触れるまでに、5分以上の時間を確保する。

参考

- ・インバータ内の高電圧コンデンサが充電されているので、放電するため、5分以上の放置時間が必要である。

CST0A020



- ・絶縁手袋は使用前にひび、割れ及び破れその他損傷が無い事を確認する。また、湿潤した絶縁手袋は使用しない。

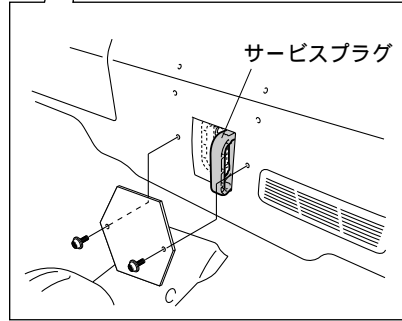
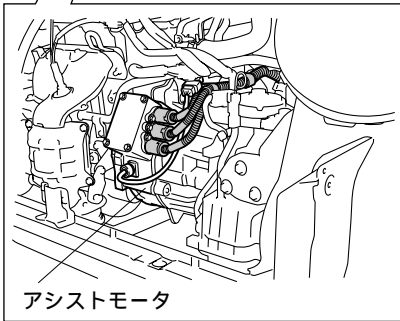
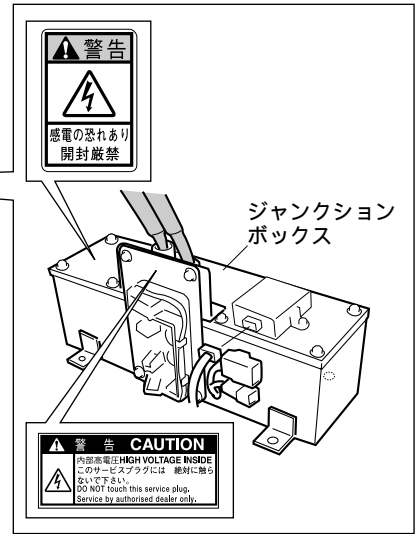
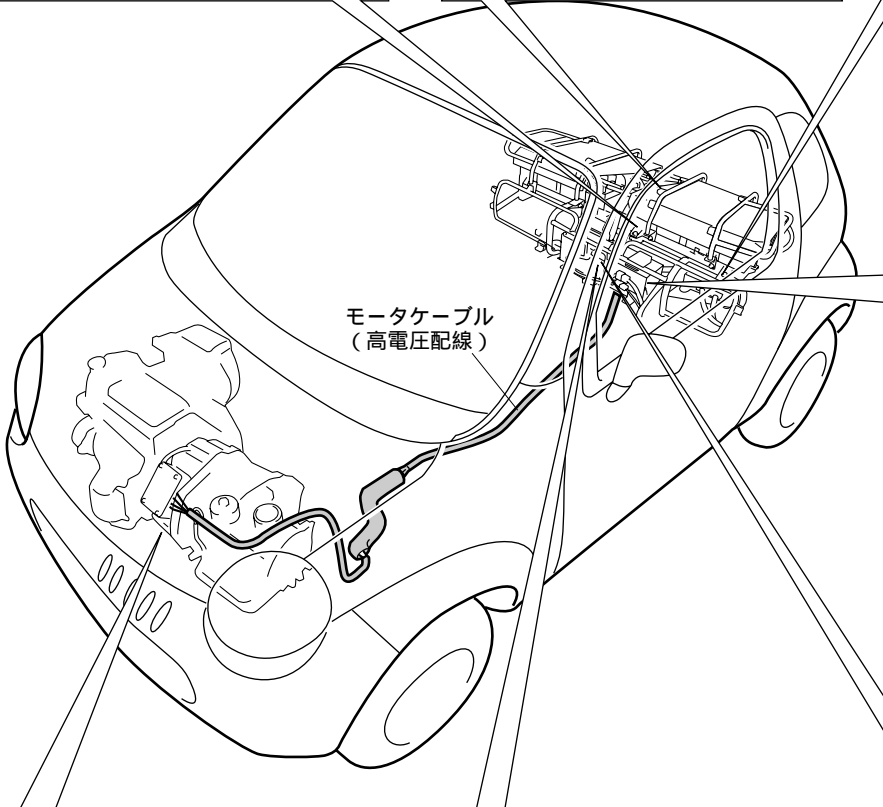
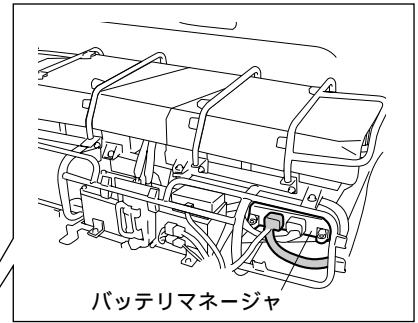
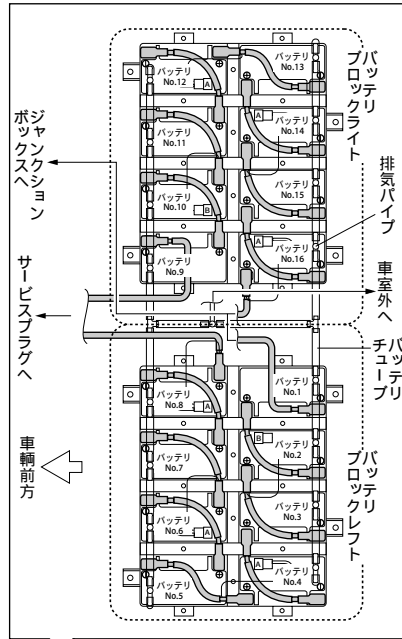
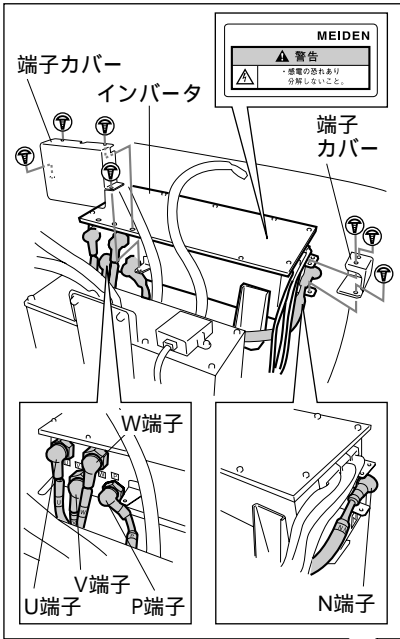
SMP0B010



- ・作業時はペンやスケールなど落下して短絡の恐れがある金属製品を身に付けない。
- ・高電圧のコネクタや端子は取り外し後、直ちに絶縁テープ（ビニールテープ等）で絶縁処置を施す。
- ・高電圧のネジ止め端子は規定トルクで確実に締め付ける。トルク不足・過大とも不具合の原因になる。
- ・高電圧系の作業中は車両に「高電圧作業中・触るな」の標示を行うなど、他のサービススタッフに注意を喚起する。0A-12に見本があるので、コピーして使用する。
- ・高電圧系の作業後、サービスプラグを接続する前に部品や工具の置き忘れ、高電圧端子の締め付け及びコネクタの接続状態などを再確認する。

高電圧回路配置図／高電圧コーションラベル

CJT2A181



サービスプラグの取外し／取付け

参考

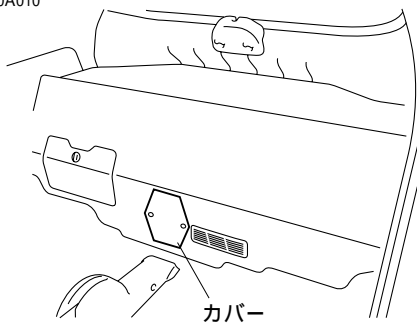
- ・イグニッションSWがONの状態ですサービスプラグを取り外すと、ハイブリッドコントロールシステムにダイアグコード31 (P3031) サービスプラグ未接続が記憶される。

1. 絶縁手袋を着用し、サービスプラグを引き抜く。

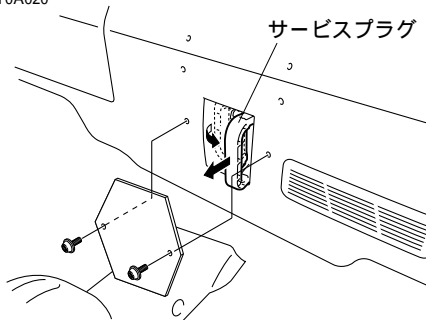
注意

- ・取り外したサービスプラグは、作業中に他のサービススタッフが誤って接続する事が無いようにポケットに入れて携帯すること。

CST0A010



CST0A020



2. サービスプラグ取外し後、ソケット部に絶縁テープ（ビニールテープ等）を貼る。

注意

- ・サービスプラグを抜いてから高電圧のコネクタや端子に触れるまでに、5分間の時間を確保すること。

- ・取付けは、取外しの逆の手順で行うが次の点に注意する。

注意

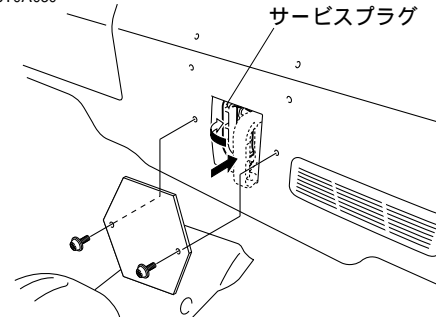
- ・サービスプラグを接続する前に部品や工具の置き忘れ、高電圧端子の締め付け及びコネクタの接続状態を再確認すること。

- ・絶縁手袋を着用し、サービスプラグを接続する。
- ・グリップを90°倒し、ロックする。

注意

- ・サービスプラグをロックしないとサービスプラグによる高電圧回路の接続が成立しない。

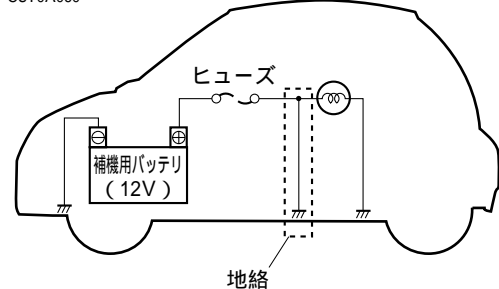
CST0A030



漏電

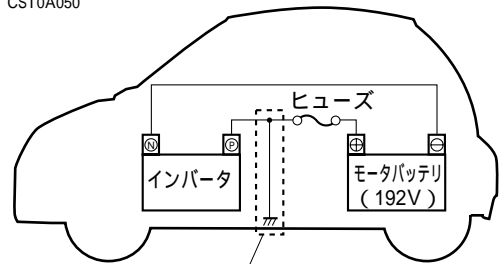
補機用バッテリー（12V）の電気回路は多くの場合ボデーアースを使用している。このため補機用バッテリー電源回路がボデーと接触することは地絡（グランドショート）であり、補機用バッテリー直後にあるヒューズが溶断する。これに対し、ハイブリッドシステムの高電圧回路はボデーアースを使用せずに、アース線をモータバッテリーまで配線している。このためモータバッテリー電源回路及びアース線がボデーと接触することは漏電である。漏電は地絡や短絡と異なるため高電圧回路のヒューズが溶断することは無く、専用の漏電センサが検出を行う。

CST0A060



補機用バッテリーの回路

CST0A050



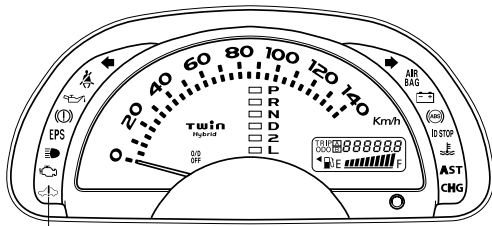
高電圧回路

漏電検出時の注意

イグニッションSWをONしたときのイニシャルチェックによる点灯時間（約3秒間）を過ぎてもハイブリッドシステム警告灯が点灯している場合は、ハイブリッドシステムに故障が発生している。オンボード点検又はダイアグノスティックモニタ（S-DM2000）による点検で、下記の故障コードが表示されている場合は、高電圧回路の漏電が考えられるため、絶縁手袋を着用し、サービスプラグを取り外してから故障診断を行うこと。

45（P3045）モータバッテリー系統漏電異常

RFT00233

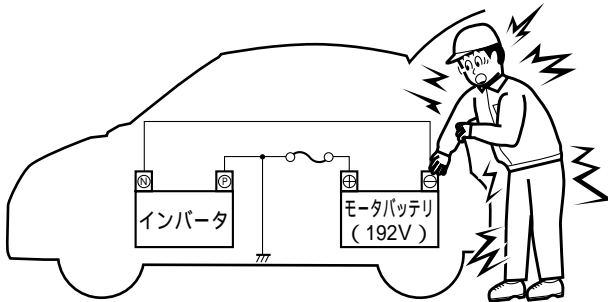


ハイブリッドシステム警告灯

注意

- ・漏電している車両について作業を行う場合、高電圧端子のいずれか一箇所直接接触ただけで感電する可能性がある。（不作意に触れている漏電箇所の電位と後から意図的に触れた高電圧端子の電位差による。）

CST0A070



高電圧作業中表示見本

⚡ 高電圧作業中 触るな！ 担当

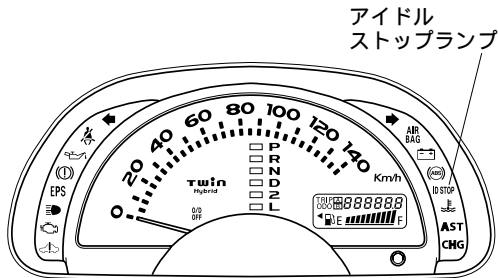
⚡ 高電圧作業中 触るな！ 担当

コピーし、折って作業中に車両のルーフに標示する。

アイドルストップ制御の注意

アイドルストップランプが点灯している場合は、アイドルストップ制御により、エンジンが停止している状態である。

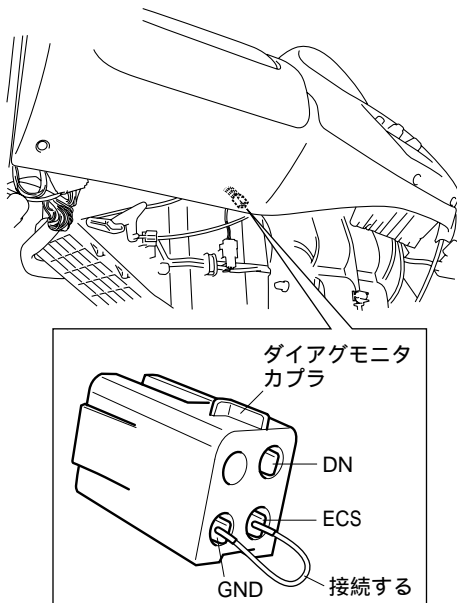
RFT00234



注意

- ・ エンジン停止状態で点検整備を行う場合は、必ずイグニッションSWをOFFにして、アイドルストップ制御のリスタートによる自動的なエンジン再始動を防止すること。
- ・ エンジン回転状態で点検整備を行う場合は、ハイブリッドシステムのダイアグモニタカプラのECS端子とGND端子を接続してアイドルストップ制御を禁止すること。

RST0A011



事故車の取扱い

事故現場での処置

- ・車両火災が発生している時は、ABC消火器で消化する。少量の水による消化はかえって危険な場合があるため、水を掛ける場合は消火栓などから大量に放水するか、消防隊の到着を待つ。
- ・車両が水に浸かっている時は、感電の恐れがあるためサービスプラグをはじめ高電圧系部品及び配線に触れない。また車両を完全に引き上げてから作業を行う。
- ・モータバッテリー付近の液漏れを確認する。漏れている液は強酸性の電解液である恐れがあるため触れない。やむを得ず触る場合はゴム手袋及び保護メガネを着用し、重曹で中和し、青色リトマス試験紙が赤に変化しないことを確認後、ウエス等で拭き取る。

参考

- ・バッテリー液は無色で液状である。
- ・高電圧系部品及び配線に損傷の恐れがある場合は安全を確認した上でサービスプラグを取り外し（0A-10参照）、高電圧を遮断する。

注意

- ・電解液が目に入ったり皮膚に付着すると、失明や障害を受ける危険があるので充分注意すること。

事故車移動後の処置

- ・路面に液漏れがある場合、強酸性の電解液である恐れがある。ゴム手袋及び保護メガネを着用して青色リトマス試験紙に含ませ、赤に変化したときは重曹で中和し青色リトマス試験紙が赤に変化しないことを確認後、ウエス等で拭き取る。

事故車補修時の注意

準備品

以下の準備品を用意する。

- ・保護具（絶縁手袋、ゴム手袋、保護メガネ及び安全靴）
- ・重曹（薬局で購入）
- ・青色リトマス試験紙（薬局で購入）
- ・ウエス、古タオル（電解液拭き取り用）
- ・絶縁テープ（ビニールテープ等）
- ・サーキットテスタ

注意事項

- ・絶縁手袋、保護メガネ、安全靴を着用する。
- ・高電圧線かどうか不明なむき出しの配線に触れない。やむを得ず触る場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用し、サーキットテスタでボデーアースとの電圧を測定後ガムテープで絶縁する。
- ・モータバッテリー付近の液漏れを確認する。漏れている液は強酸性の電解液の恐れがある。ゴム手袋及び保護メガネを着用して青色リトマス試験紙に含ませ、赤に変化したときは重曹で中和し青色リトマス試験紙が赤に変化しないことを確認後、ウエス等で拭き取る。
- ・電解液が直接皮膚に触れた場合は直ちに多量の水で洗い流す。また、汚染した衣服はすぐに脱ぐ。
- ・万一、目に入ったときは大声で救援を求め、目をこすらずに直ちに多量の水で洗い流し、専門医の診断を受ける。
- ・高電圧系部品及び配線に損傷の恐れがある場合は次の手順で高電圧を遮断する。
 1. シフトレバーをPレンジにし、パーキングブレーキを掛ける。
 2. イグニッションSWをOFFにし、補機用バッテリーのマイナス端子を外す。
 3. 絶縁手袋を着用し、サービスプラグを抜く。
 4. 車両損傷により、サービスプラグが抜けないときはモータバッテリー端子の接続を外す。

廃棄処理時に注意を必要とする部品

バッテリー

補機用バッテリー、モータバッテリー共に自動車用鉛バッテリー回収ルートにより処理し、みだりに廃棄しないこと。

セクション
2

ハイブリッドシステム概要

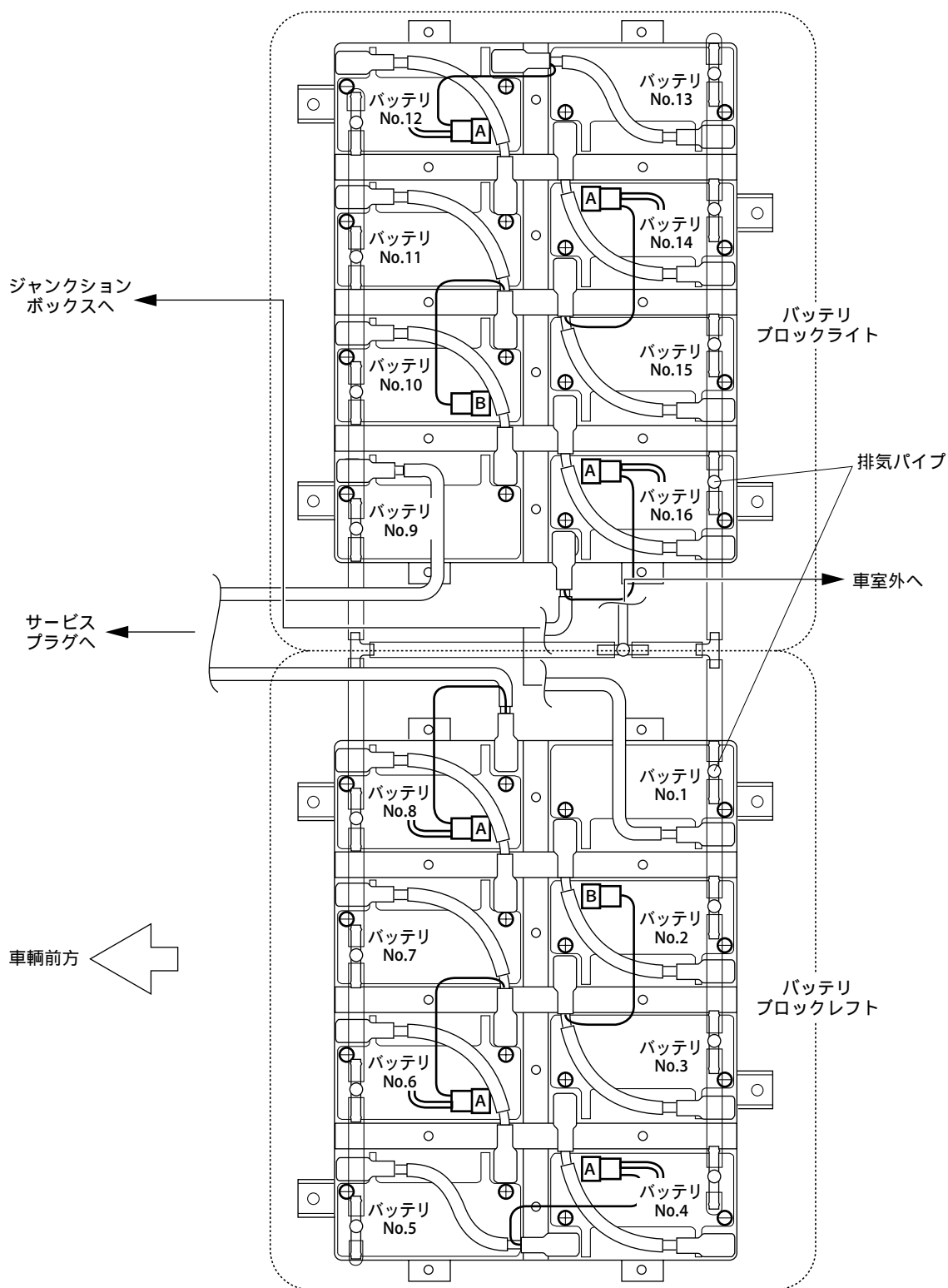
目 次

概要	2- 2
ハイブリッドシステム作動概要	2- 2
ハイブリッドコントローラ (HCU)	
ハイブリッドシステム入出力図	2- 5
アシスト制御	2- 6
回生制御	2- 6
アイドルストップ制御	2- 6
ヒルホールド制御	2- 7
コンタクタ/プリチャージリレー制御	2- 7
アシストモータ	2- 8
アシストモータ仕様	2- 8
インバータ	2- 9
バッテリーマネージャ (BMU)	2- 9
ジャンクションボックス	2-10
モータバッテリー	2-10
モータバッテリー仕様	2-11
ヒルホールドソレノイド及びブレーキブースタセンサ	2-12

モータバッテリー仕様

型式	FT7C-HEV
定格電圧	12V
3時間率容量	6.3Ah
使用数	16個
総電圧	192V

CJT20091



コネクタ	バッテリー温度センサ	電圧検出端子
A		
B	x	

セクション 2A

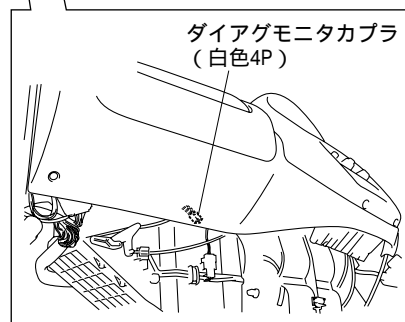
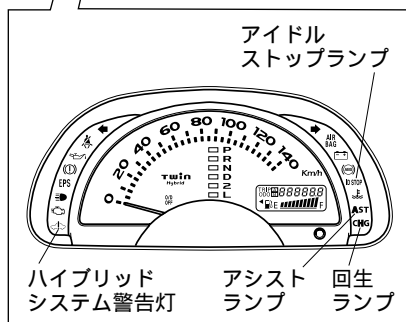
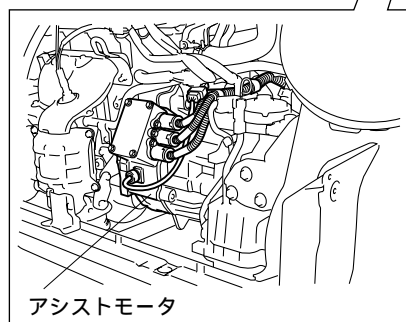
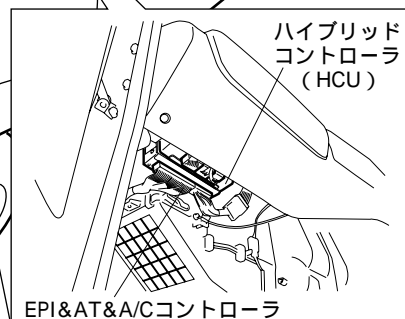
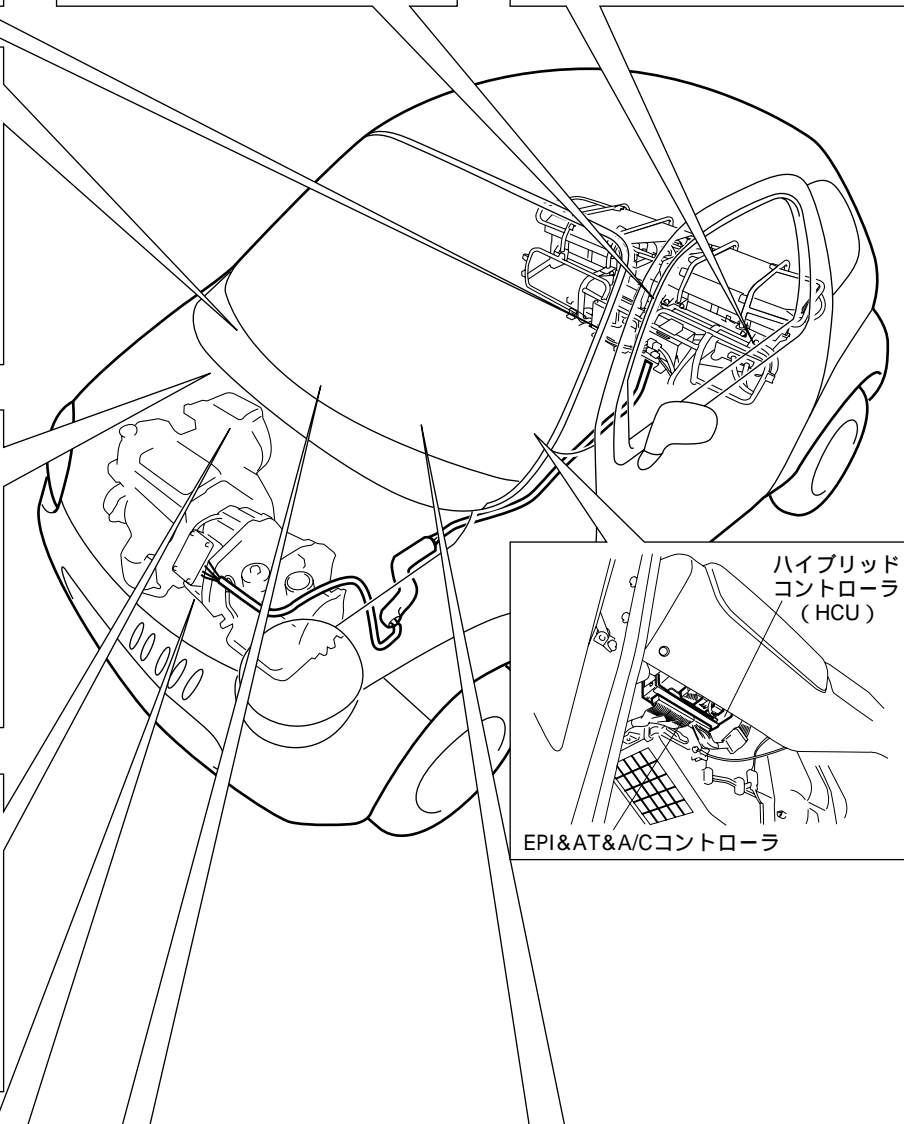
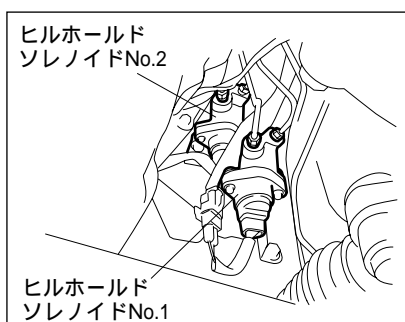
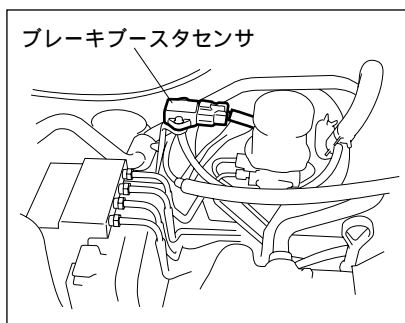
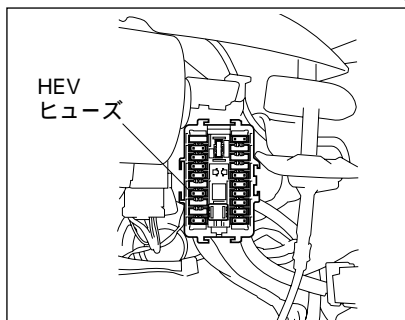
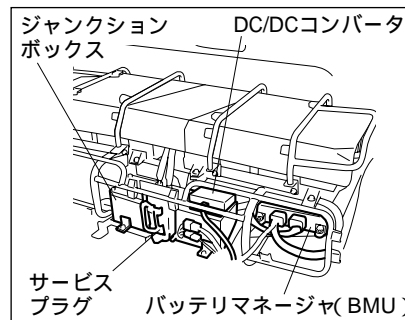
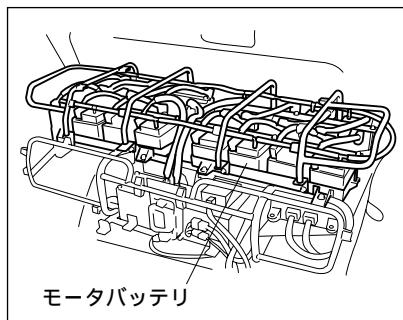
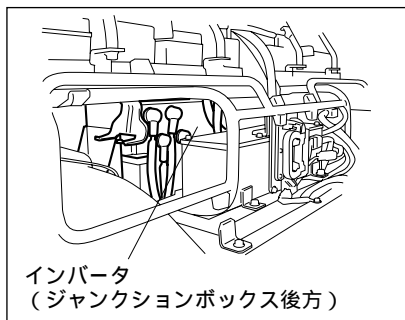
ハイブリッドコントロールシステム

目 次

ハイブリッドコントロールシステム		モータバッテリー	
構成図	2A- 2	作業上の注意	2A-56
システム回路図	2A- 3	構成図	2A-56
コントローラ端子基準電圧(参考) ...	2A- 5	充電方法	2A-57
コントローラ基準波形一覧(参考) ...	2A-11	取外し/取付け	2A-58
故障診断		点検	2A-60
作業上の注意	2A-13	ジャンクションボックス	
セルフダイアグノーシスによる故障診断	2A-13	作業上の注意	2A-60
ダイアグコード一覧表	2A-15	取外し/取付け	2A-60
スズキダイアグノスティックモニタ(S-DM2000)	2A-17	点検	2A-61
コード21(P3021)	2A-19	インバータ	
コード22(P3022)	2A-20	作業上の注意	2A-62
コード23(P3023)	2A-22	取外し/取付け	2A-62
コード24(P3024)	2A-23	アシストモータ	
コード25(P3025)	2A-24	作業上の注意	2A-63
コード26(P3026)	2A-25	高電圧配線の取外し/取付け	2A-63
コード27(P3027)	2A-27	取外し	2A-64
コード28(P3028)	2A-28	点検	2A-65
コード31(P3031)	2A-29	取付け	2A-67
コード32(P3032)	2A-30	ヒルホールドソレノイド	
コード33(P3033)	2A-32	構成図	2A-69
コード34(P3034)	2A-34	点検	2A-70
コード35(P3035)	2A-35	作動点検	2A-70
コード36(P3036)	2A-36	ブレーキブースタセンサ	
コード37(P3037)	2A-38	点検	2A-70
コード38(P3038)	2A-40	特殊工具一覧	
コード41(P3041)	2A-41	特殊工具	2A-71
コード42(P3042)	2A-42	指定材料一覧	
コード43(P3043)	2A-43	指定材料	2A-71
コード44(P3044)	2A-45		
コード45(P3045)	2A-46		
コード46(P3046)	2A-50		
コード47(P3047)	2A-52		
コード48(P3048)	2A-54		

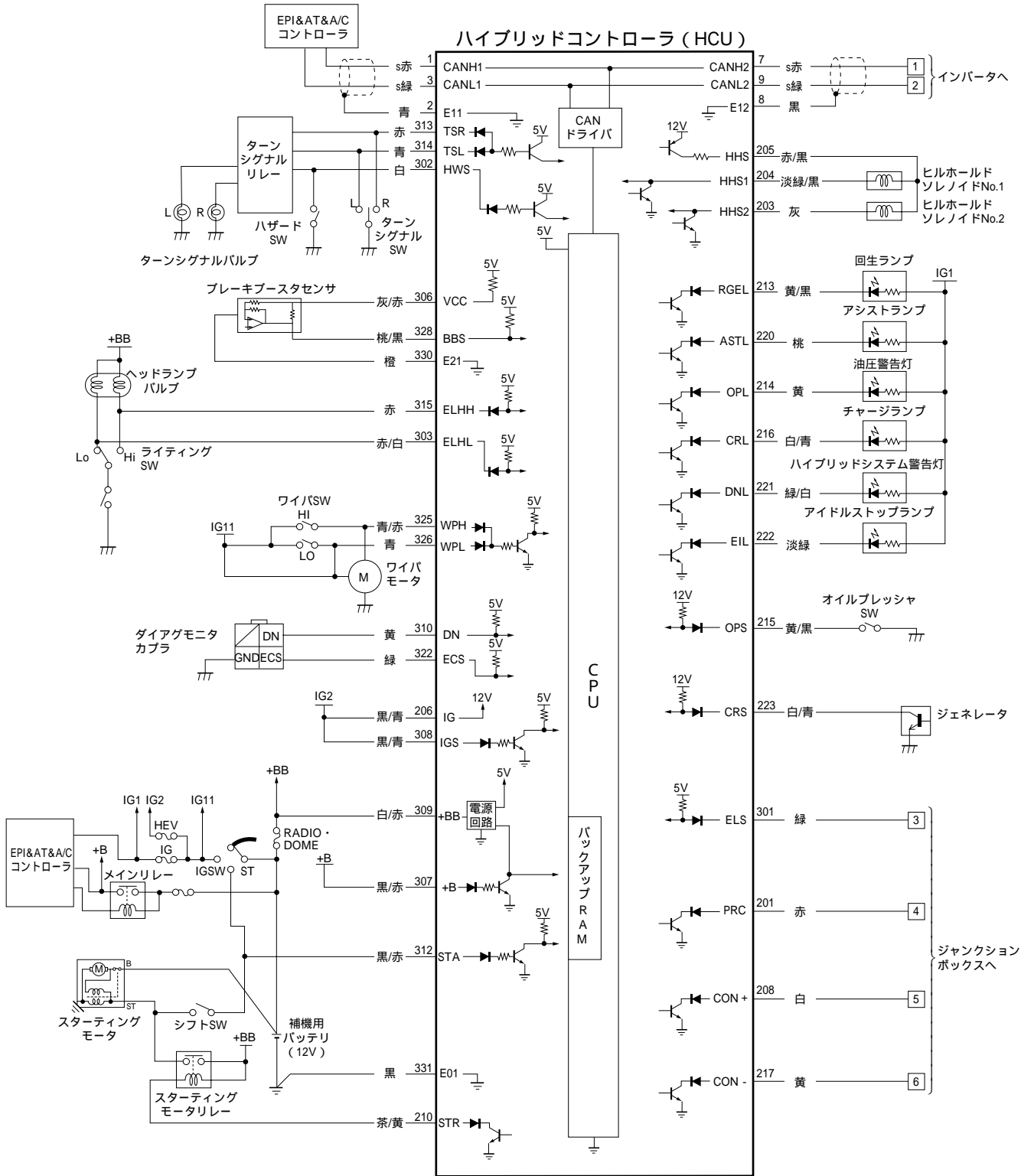
ハイブリッドコントロールシステム 構成図

CJT2A181



システム回路図

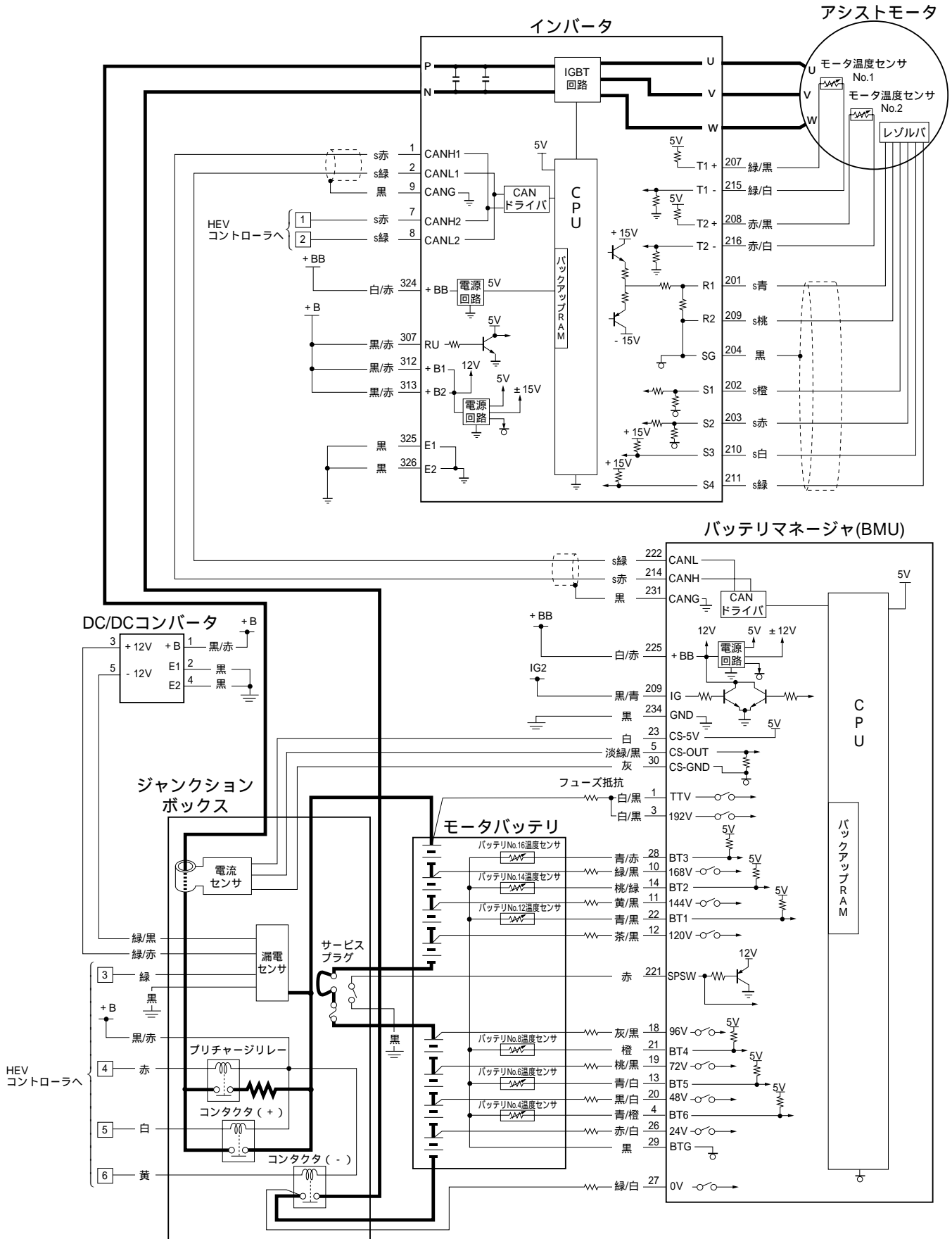
CJT2A011



注意

- ・内部回路は、動作を理解するための概念図で、一部実物と異なる場合がある。

CJT2A012



注意

- ・内部回路は、動作を理解するための概念図で、一部実物と異なる場合がある。

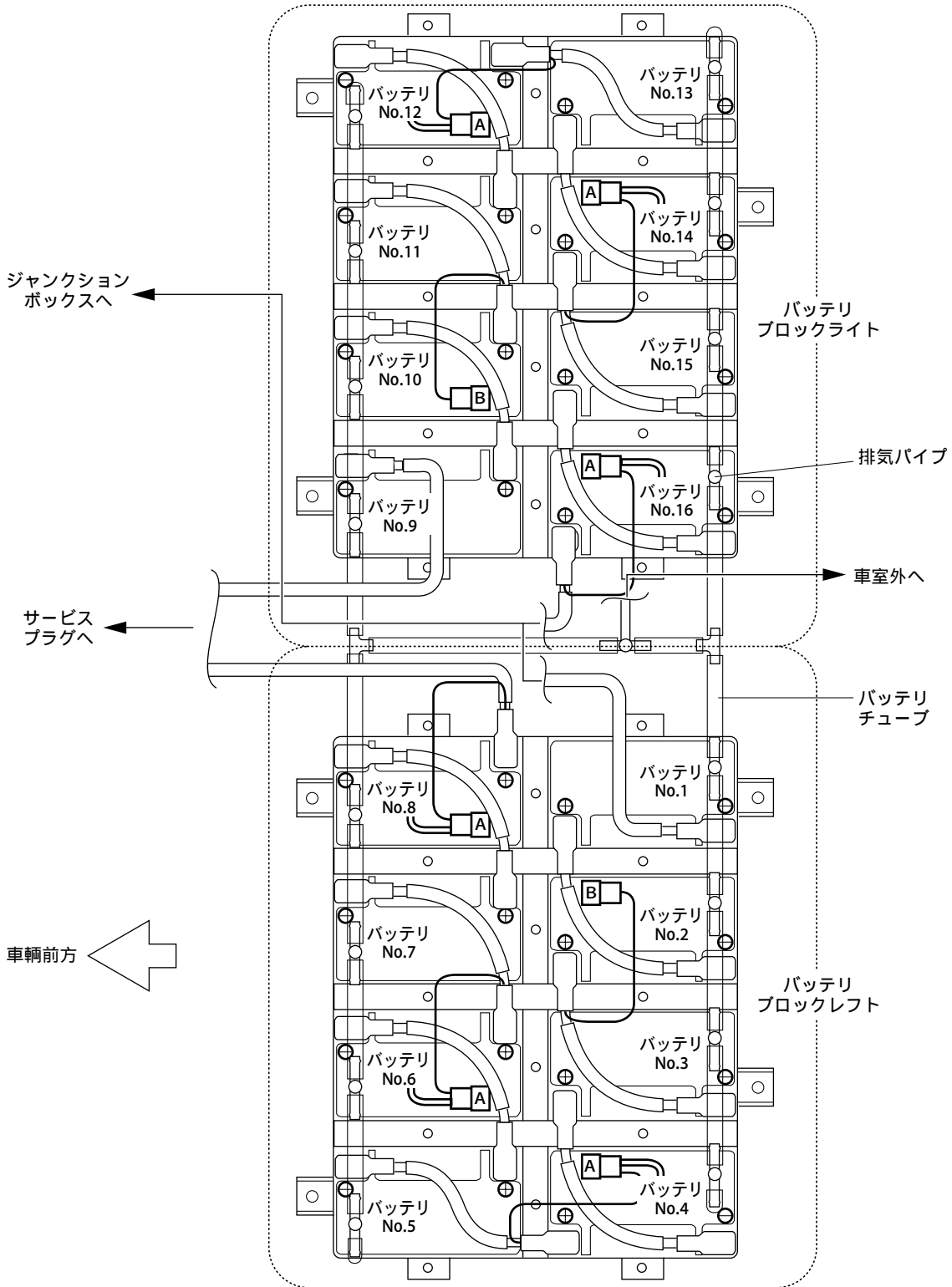
モータバッテリー 作業上の注意

注意

- ・高電圧回路のショート及び感電を避けるため、SEC 0Aの「作業上の注意」を参照すること。

構成図

CJT20090



コネクタ	バッテリー 温度センサ	電圧検出端子
A		
B	x	

充電方法

1. スズキダイアグノスティックモニタ (S-DM2000) の動作状況表示により、モータバッテリー充電状態及びモータバッテリー温度を点検し、下表から充電に必要な時間を確認する。

参考

- ・モータバッテリー温度が15℃以下の場合には充電時間が下表より長くなる。

バッテリー充電状態 (%)	充電時間 (h)
80	約5
60	約8
40	約11

2. イグニッションSWをOFFにしてキーを抜き、SEC 0Aを参照してサービスプラグを取り外す。
3. ラゲッジボードA、B及びバッテリーカバーセンタを取り外す。(2A-58参照)
4. 電流センサコネクタ及びバッテリーNo.16のバッテリーコネクタを外す。

5. 助手席足元に特殊工具Aを載せ、バッテリーNo.16のバッテリーコネクタ及び電流センサコネクタに特殊工具Aのコネクタを接続する。

注意

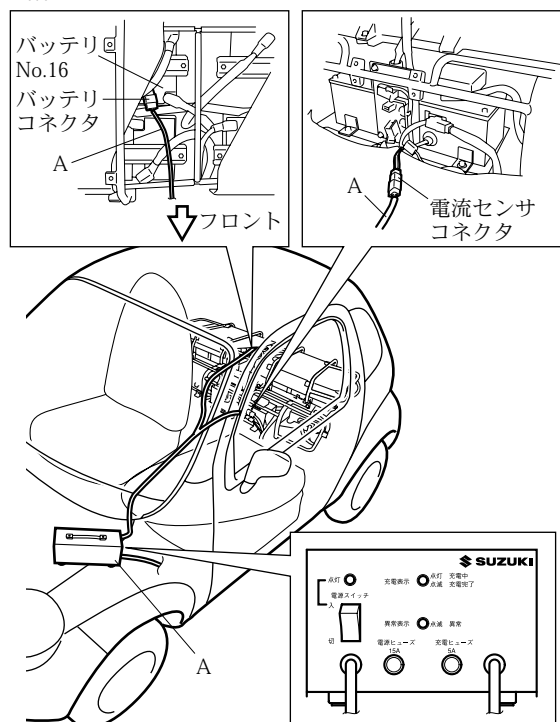
- ・指定以外の充電器を使用しないこと。
- ・モータバッテリーに水、異物が入らないようガラスハッチは閉じた状態で作業を行うこと。
- ・車室外へ配管されているバッテリーチューブの先端に泥等の詰まりがないことを確認すること。
- ・特殊工具Aは防水でないため、屋内で使用すること。
- ・特殊工具Aのコネクタを接続する前に特殊工具Aの電源を入れしないこと。
- ・特殊工具Aの操作パネル背面にある通風孔をふさがないこと。

特殊工具

- ・A (モータバッテリー充電器)

2003年2月下旬発売予定

CJT2A570



6. SEC 0Aを参照してサービスプラグを取り付ける。
7. 特殊工具Aの電源コードをAC100Vに接続し、電源SWを切→入にする。

8. 充電中は特殊工具Aの充電表示ランプ（緑）が点灯し、充電が完了すると自動的に充電を停止し、充電表示ランプ（緑）が点滅する。

注意

- ・充電中はイグニッションSWをONしないこと。
- ・モータバッテリー温度が0℃以下では充電できない。

参考

- ・特殊工具Aの異常表示ランプ（赤）が点滅した場合、以下の不具合が考えられる。

1. 一定時間内に充電が終了しない。（モータバッテリーの劣化）
2. モータバッテリー温度が高い。
3. 各コネクタの接続不良。
4. バッテリーNo.16電圧検出端子の接続不良。
5. ジャンクションボックスの不具合。

9. 充電表示ランプ（緑）が点滅したのを確認し、特殊工具Aの電源SWを入切にして、電源コードを抜く。
10. SEC 0Aを参照してサービスプラグを取り外す。

注意

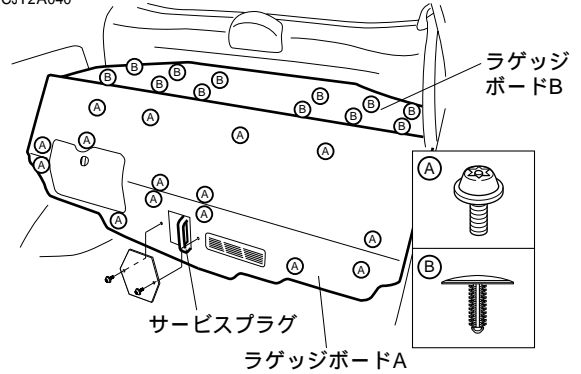
- ・充電完了後はモータバッテリー電圧が安定するまで5分以上イグニッションSWをONしないこと。

11. 以降は接続と逆の手順で行うこと。

取外し／取付け

1. SEC 0Aを参照して、サービスプラグを外す。
2. いじり止めトルクスレンチ（T30）を使用してボルト（15本）を外し、ラゲッジボードAを取り外す。
3. クリップを外し、ラゲッジボードBを取り外す。

CJT2A040

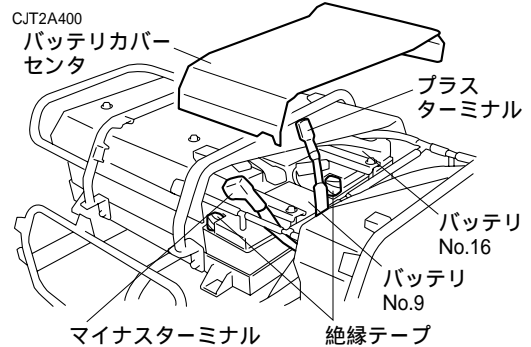


4. バッテリーカバーセンタを取り外す。
5. バッテリーNo.16のプラスターミナルを外し、端子に絶縁テープを巻く。
6. バッテリーNo.9のマイナスターミナルを外し、端子に絶縁テープを巻く。

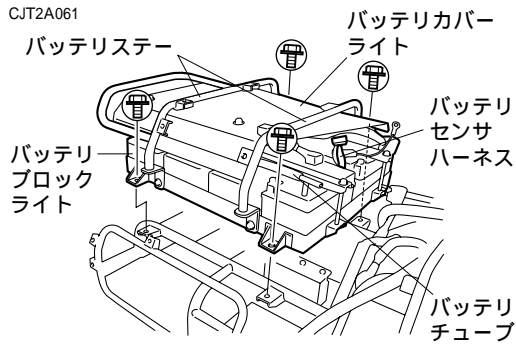
注意

- ・外したバッテリー端子間は約100Vの高電圧である。2つのバッテリー端子を同時に触らないこと。
- ・絶縁テープの貼り付けを必ず実施し、感電及びショートに注意すること。

CJT2A400



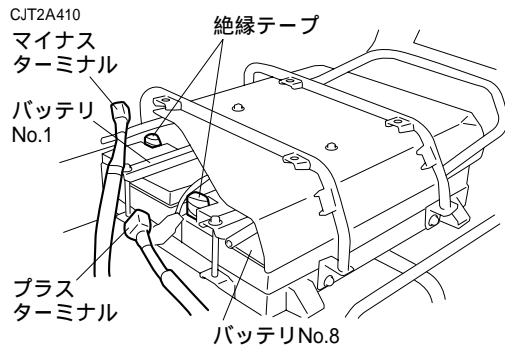
7. バッテリーセンサハーネスのコネクタ及びバッテリーチューブを外す。
8. 取付ボルト（4本）を外し、バッテリーブロックライトを取り外す。
9. バッテリーカバーライトを外し、バッテリーセンサハーネスを取り外す。



10. バッテリーNo.8のプラスターミナルを外し、端子に絶縁テープを巻く。
11. バッテリーNo.1のマイナスターミナルを外し、端子に絶縁テープを巻く。

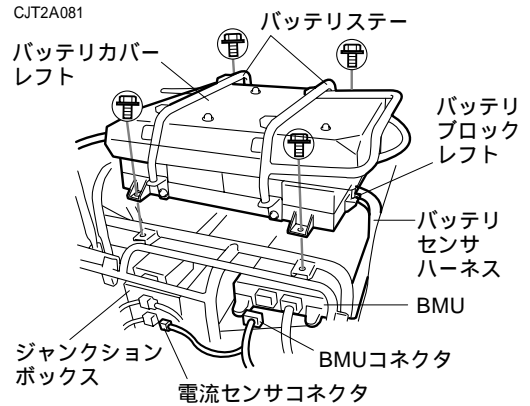
注意

- ・ 外したバッテリー端子間は約100Vの高電圧である。2つのバッテリー端子を同時に触らないこと。
- ・ 絶縁テープの貼り付けを必ず実施し、感電及びショートに注意すること。



12. BMUコネクタと電流センサコネクタを外す。
13. 取付ボルト（4本）を外し、バッテリーブロックレフトを取り外す。
14. バッテリーカバーレフトを外し、バッテリーセンサハーネスを取り外す。

取付けは取外しと逆の手順で行うが次の点に注意する。



- ・ 各ボルトは規定のトルクで締め付ける。

締付トルク

- ・ バッテリーブロック取付ボルト：
23N・m {230kgf・cm}
- ・ バッテリーターミナル取付ボルト：
5.0N・m {51kgf・cm}
- ・ バッテリーマスター取付ボルト：
10N・m {100kgf・cm}

点検

バッテリー電圧の点検

1. モータバッテリー充電器を使用して、モータバッテリーの充電を行う。
2. スズキダイアグノスティックモニタ (S-DM2000) の動作状況表示によりモータバッテリー電圧を点検し、基準値を外れる場合はモータバッテリーを交換する。

基準値

- ・モータバッテリー電圧：200V以上

バッテリー温度センサの点検

- ・バッテリーNo.4、No.6、No.8、No.12、No.14及びNo.16の温度センサの抵抗 (1 - 2端子間) を測定する。

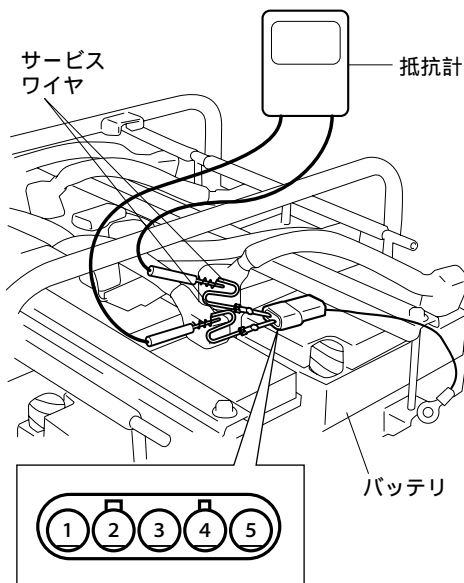
注意

- ・バッテリー温度センサはモータバッテリーに6個内蔵されている。5個以下の不良の場合、ダイアグコードは検出するが車両の走行に支障はない (ハイブリッドシステム警告灯消灯及びフェイルセーフ制御なし) ため、モータバッテリーの交換は行わないこと。
- ・全てのバッテリー温度センサ抵抗値が基準値を外れる場合 (ハイブリッドシステム警告灯が点灯しコード36 (P3036) を検出) は、モータバッテリーを交換すること。

基準値

- ・ 29.3～30.8k Ω (0 $^{\circ}$ C)
- ・ 12.1～13.2k Ω (20 $^{\circ}$ C)
- ・ 5.6～6.3k Ω (40 $^{\circ}$ C)

CJT2A420



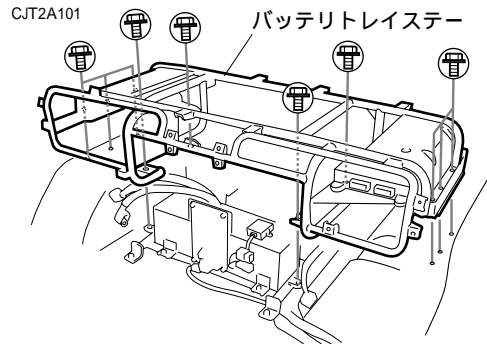
ジャンクションボックス 作業上の注意

注意

- ・高電圧回路のショート及び感電を避けるため、SEC 0Aの「作業上の注意」を参照すること。

取外し／取付け

1. 2A-58を参照して、モータバッテリーを取り外す。
2. 各コネクタ及び取付ボルトを外し、バッテリートレイスターとBMUを一体で取り外す。



3. 端子カバー2箇所を外し、インバータP及びN端子を外す。
4. DC / DCコンバータを取り外す。

CJT2A112

